第1192号　株式会社 茨城木材相互市場　2019 4

那珂川NEWS

育てませんか あなたと私の Wood コミュニケーション

公募締切迫る！ 平成31年4月12日(金)まで

いばらき木づかいチャレンジ2019

～県産木材の新たな可能性を発見～

■補助対象事業主体

広く県民が利用する施設を整備する市町村及び民間の法人
※対象施設の例…市町村施設,病院,飲食店,金融機関,社会福祉施設等

■補助率

地域材を用いた木造化・木質化に直接必要な経費の1/2以内
(上限10,000千円/施設)

■主な要件

・補助対象の木工事費は1,000万円以上(税抜き)とする。
・「いばらき優良木材証明制度」などの証明制度に基づき,伐採の合法性が証明された地域材を使用していること。
・木造化の際は,建物の主要構造部材等(※)には県内で産出された地域材を100%使用すること。
・平成31年度中(2020年3月末日まで)に補助事業が完了すること。
(※)建築基準法第2条の5に規定する主要構造部のうち壁,柱,床,はり,屋根に用いる製材及び集成材のほか、間柱などの下地用製材

◆平成30年度に採択となった施設

◎杉柱材を使ったBP材と格子状の魅せる耐久壁で構成された「**質感ある木の塊り**」
◎川上から川下までの地域の技術が結集された まさにモデルとなる「**木に癒される診療所**」
◎細い木材をリズミカルに配置することで ロングスパンを実現した「**挑戦的な建築物**」
◎拡張性のあるデザインを備えた「**スマート木造建築**」
◎設計者の真面目さが伝わる「**オーソドックスな木造幼稚園**」
◎大径木時代に対応した「**ありのままの丸太柱のある施設**」
◎在来工法で築き上げる,県北地域における「**最大級の木造校舎**」
◎多世代で地域の林業・木材産業の価値を実感できる,周囲の風景になじんだ「**大空間交流施設**」

■提出方法

事業予定箇所がある市町村を管轄する以下の林業振興課に持参又は封書により郵送(宅配便含む)。
(これ以外での提出方法は不可とします。)
・県北農林事務所林務部門林業振興課　☎0294-80-3370
・県央農林事務所企画調整部門林業振興課　☎029-231-2079
・鹿行農林事務所企画調整部門林業振興課　☎0291-33-4123
・県南農林事務所企画調整部門林業振興課　☎029-822-7087
・県西農林事務所企画調整部門林業振興課　☎0296-24-9176

■その他（提出資料等）についてのお問合せ先

・茨城県農林水産部林政課森づくり推進室
☎029-301-4021
・「林政課のホームページ」を参照願います。
HP(https://www.pref.ibaraki.jp/tsukuru/norinsuisangyo/shinrin-ringyo/index.html)から様式をダウンロードしてください。

「茨城県産材推進協議会」　日刊木材新聞 平成31年3月20日号より

新ブランド「かがや木」を展示

茨城木材相互市場(茨城県水戸市、打越芳男社長)は13日、期末を前に、恒例の決算謝恩市を開いた。立ち会い来場者は40人、売上高8500万円を計上した。当初の売上高目標は6000万円弱だったが、杉グリン小角・羽柄材、KD羽柄材がよく動き、目標を上回った。

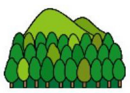
当日は、**県産材需要拡大に向けて、同社が事務局を務める茨城県産材推進協議会(鉾田樹一会長)の展示コーナーを設け、新たに「かがや木」のブランド名のシールを各製品に貼付して販売し、ほぼ完売した。**販売材積は1620立方メートル、入荷も多く売上高を押し上げた。非住宅物件への納材があったことも売上高増に貢献した。

杉KD柱角は相場確認で様子見の動きが見られ、立ち会い、引き合いは今ひとつだったが、近県産杉グリン小角、ヌキ・胴縁をはじめとした杉グリン羽柄材、杉KD羽柄材の引き合いが堅調だった。

■わたしたちの使命
（茨城木材の社会的役割）

「消費と生産を結ぶ価値ある架け橋」となる
－循環型地域環境の創造－

1. 地域の人々により良い『住環境』を提供すること
2. 茨城県の森林環境を守ること



[市日予定]

＜本　社＞	＜つくば＞
4月16日 (火) 記念市	4月4日 (木) 記念市
	11日 (木) 通常市
	18日 (木) 記念市
	25日 (木) 通常市

4/16 さくらまつり